

平成24年度「福井新々元気宣言」推進に係る政策合意の実施結果 (平成25年3月末現在)

「福井新々元気宣言」の4つのビジョンを着実に実現していくため、平成24年4月に知事と合意した「政策合意」の実施結果について、次のとおり報告します。

平成25年3月

土木部長 西山 幸治

I 総括

1 道路交通ネットワークの整備

- 舞鶴若狭自動車道の日も早い開通や、スマートインターチェンジの整備促進について、中日本高速道路株式会社や国に要請しました。

小浜・敦賀間については、野坂岳トンネルの掘削が完了し14本すべてのトンネルが貫通するなど、平成26年度開通に向けて全区間で工事が進められています。

敦賀南スマートインターチェンジ（仮称）については、4月に設置が許可され、工事に着手しました。

- 中部縦貫自動車道の整備促進や大野・大野東間の早期事業化について国土交通省に強く要請を行いました。

永平寺大野道路の勝山・大野間については、3月24日に開通しました。

福井北・松岡間については、松岡高架橋の架設が開始され、永平寺東・上志比間では、谷口高架橋の下部工事が着手されるとともに、長年、未買収であった用地の取得に進捗がみられました。

大野油坂道路については、大野東・和泉間で用地買収に着手し、今年度事業化された和泉・油坂間では、調査設計が進捗しています。

- 併せて、県内の主要道路の整備について、優先度をつけて計画的に促進しました。
- これからも、高規格幹線道路の早期整備と主要道路の効率的な整備により、道路交通ネットワークの確保を図っていきます。

2 災害に強いインフラの整備

- 足羽川ダムについては、流域の安全を確保するため一日も早いダム完成を国に求めています。また、河内川ダム、吉野瀬川ダムについても早期完成に向け事業を推進します。

- 県内の河川において、洪水に備えた改修を進めるとともに、河道内の流下阻害の恐れのある土砂や雑木等の除去を行い、治水安全度を向上しました。

- 土砂災害対策などのハード整備と併せて、市町と連携した避難訓練や防災講習会を実施するとともに、災害時要援護者関連施設に対し避難訓練の実施の働きかけを行い、防災体制の整備を図りました。

- 道路の防災・防雪・除雪・融雪対策、橋梁の長寿命化対策を進め、道路の安全を確保しました。
- これからも、自然災害に対する県民の安全安心の確保を図っていきます。

3 県民と共働して便利で美しいまちづくり

- ・ 県内8地区における地域の特性に応じた住教育の実施、橋りょう景観ガイドラインに基づく評価など、景観改善の環境づくりを進めました。
- ・ 老朽化や退色が進んだ公共施設の案内看板等の除却や、歩道整備区間における道路標識等の集約化を実施し、道路景観を改善しました。
- ・ 県都のシンボルである足羽川でのにぎわい創出のため、水辺での活動の促進と定着に取り組みました。
- ・ これからも、景観改善やにぎわい創出などを図る各種施策を実施することで、県民の生活に潤いと活力を与えるまちづくりの推進を図っていきます。

II 「政策合意」項目にかかる結果について

- ・ 別紙「平成24年度 政策合意項目にかかる実施結果報告（土木部）」のとおり

平成24年度 政策合意項目にかかる実施結果報告(土木部)
(平成25年3月末現在)

【実施結果の区分】

- ・目標を上回って達成しました。(例:成果が目標を概ね2割超えて達成されたもの)
- ・目標を達成しました。(例:成果が目標どおり達成されたもの)
- ・目標を一部達成しませんでした。(例:成果の一部が目標に及ばなかったもの)
- ・目標にはいたりませんでした。(例:成果が目標に及ばなかったもの)
- ・引き続き実施します。(例:成果を上げるためには年度を超えて実行する必要のあるもの)

役職	土木部長	氏名	西山 幸治
項 目		実 施 結 果	
<p>1 観光とブランドを産業の柱に ◇ 観光を福井のリーディング産業へ ・道の駅の整備【部局連携】 昨年度選定した鯖江市および越前町の2箇所の整備を進めていくとともに、観光や農産物販売の拠点となる地域振興施設などの管理運営体制について市町と協議し、新たな道の駅の整備候補地を選定します。</p> <p style="text-align: center;">〔 選定する道の駅の候補地 1 箇所 〕</p>		<p>[成果等] 目標を上回って達成しました。</p>	
		<p>鯖江市および越前町の2箇所については、地域振興施設の配置等について市町と協議を行いながら整備を進めました。新たな道の駅の整備については、若狭町や永平寺町と体験施設、特産物販売について協議し、2箇所の整備候補地を選定しました。</p> <p style="text-align: center;">〔 選定する道の駅の候補地 2 箇所 若狭町 : 縄文プラザ 永平寺町 : 永平寺温泉 〕</p>	
<p>2 日本一の安全・安心 ◇ 地震・異常気象・災害などに迅速対応 ・道路インフラの防災対策 これまでの点検結果により対策が必要とされる、緊急輸送道路や原子力発電所に至る道路などの箇所において、法面防災対策工事を実施します。 また異常気象時等、緊急輸送道路や迂回路の無い路線を重点的にパトロールし、防災対策の充実を図ります。</p> <p style="text-align: center;">〔 道路法面对策工事に着手する斜面数 24 斜面 (うち原子力災害制圧道路に関する斜面数 8 斜面) (平成23年度 32 斜面) 〕</p>		<p>[成果等] 目標を上回って達成しました。</p>	
		<p>・緊急輸送道路となっている国道305号などにおいて、国の補正予算を活用し、前倒して39斜面(うち原子力災害制圧道路に関する斜面は14斜面)の道路法面对策工事に着手しました。 ・異常気象時には、緊急輸送道路や迂回路の無い路線および大飯原子力発電所に至る県道を重点的にパトロールしました。</p> <p style="text-align: center;">〔 道路法面对策工事に着手した斜面数 39 斜面 (うち 原子力災害制圧道路に関する斜面数 14 斜面) 〕</p>	

役職	土木部長	氏名	西山 幸治
項目		実施結果	
<p>・道路インフラの除雪対策 緊急医療施設周辺道路、最重点除雪路線、緊急輸送道路などから順次消雪施設を整備します。また、雪崩対策が必要な箇所に防雪施設を重点整備します。</p> <p>11月頃までに、パトロール、支障木の事前伐採、国、高速道路株式会社等との情報共有などについて、これまでの大雪時の課題を再点検し、一層の除雪対策を進めます。</p> <p>平成26年度の舞鶴若狭自動車道全線開通に向け、嶺南地域における今後の除雪体制のあり方を検討し、除雪対策の充実を図ります。</p>		<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>最重点除雪路線である(主)福井四ヶ浦線など8箇所では消雪施設を整備し約5km完成、また、防雪施設も5箇所では重点整備します。</p> <p>11月までに、嶺南地域の県管理道路において、除雪車を2台増強、路面監視カメラを5台増設しました。また、国、高速道路株式会社においても、除雪車の増強、路面監視カメラの増設が行われました。</p> <p>大雪警報が発表時に設置される「福井県道路情報連絡室」に、今年度より西日本高速道路株式会社を加え、情報の共有化により迅速な対応が図られました(6回設置)。また、「(仮称)嶺南地域道路雪対策勉強会」を関係者で開催しました。今後、平成26年度の舞鶴若狭自動車道全線開通に向け、回を重ね除雪対策の充実を図ります。</p>	
<p>消雪設備の整備延長 319km (平成23年度末 315km)</p>		<p>消雪設備の整備延長 320km (5kmの増)</p>	
<p>・原子力災害制圧道路等の整備促進 原子力発電所の事故発生時に人員や重機などの輸送を可能にする災害制圧道路の整備を進めるとともに、斜面对策や橋梁耐震補強など、既存の道路の防災機能の強化を図ります。</p>		<p>[成果等] 引き続き実施します。</p> <p>新設道路4路線については、地元や関係者との協議を経て、設計を終え、用地買収を進めています。来年度、工事に着手する予定です。</p> <p>現道の防災対策について、斜面については14箇所の対策工事に着手し、6箇所が完了しました。橋梁については青戸の大橋をはじめ6橋の補修補強に着手し、3橋が完了しました。残る箇所についても早期に完成するよう努めます。</p>	
<p>斜面对策工事に着手した箇所数 14箇所 うち、工事が完了した箇所数 6箇所</p> <p>橋梁耐震補強工事に着手した箇所数 6箇所 うち、工事が完了した箇所数 3箇所</p>		<p>斜面对策工事に着手した箇所数 14箇所 うち、工事が完了した箇所数 6箇所</p> <p>橋梁耐震補強工事に着手した箇所数 6箇所 うち、工事が完了した箇所数 3箇所</p>	

役職	土木部長	氏名	西山 幸治		
項目		実施結果			
<p>・治水対策の促進【部局連携】 近年に浸水被害が発生した区間、想定氾濫区域内に家屋等が集中している区間、主要事業と関連する区間などを重点的に整備します。 また、計画的に河川の浚渫や伐木を実施し、あわせて土砂や伐木の有効利用を図ります。 さらに、過去の浸水実績の公表を含め、洪水・土砂災害ハザードマップの統合、津波災害警戒区域について検討を進めます。また、浸水が想定される区域における新たな開発の抑制など適切な土地利用の誘導を図ります。</p> <table border="0" data-bbox="159 840 646 1108"> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>整備効果が現れる河川延長 2, 180m (平成23年度末 1, 180m) (1, 000mの増)</p> <p>河川の計画的浚渫の実施 2万m3 (平成23年度 2. 4万m3)</p> </td> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>整備効果が現れる河川延長 2, 220m (1, 040mの増)</p> <p>河川の計画的浚渫の実施 2. 0万m3</p> </td> </tr> </table>		<p>整備効果が現れる河川延長 2, 180m (平成23年度末 1, 180m) (1, 000mの増)</p> <p>河川の計画的浚渫の実施 2万m3 (平成23年度 2. 4万m3)</p>	<p>整備効果が現れる河川延長 2, 220m (1, 040mの増)</p> <p>河川の計画的浚渫の実施 2. 0万m3</p>	<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>治水対策を促進するため、市街地を流れる底喰川、主要事業である中部縦貫自動車道と一体的に整備が必要な荒川など効果が早期に発現できるよう重点的に整備を進めました。 また、河川の浚渫と伐木を実施し、あわせて浚渫土砂の有効活用、伐採木材の無償提供を実施しました。 さらに、適切な土地利用の誘導を図るため、浸水実績図を作成しました。 洪水・土砂災害ハザードマップの統合については、平成25年度からの運用に向け、情報提供の方法を決定するとともに、一元化する情報の収集・整理を行いました。 津波災害警戒区域については、設定の基準となる国の断層モデルが公表され次第、津波高・浸水想定に基づく指定方針を作成します。</p>	
<p>整備効果が現れる河川延長 2, 180m (平成23年度末 1, 180m) (1, 000mの増)</p> <p>河川の計画的浚渫の実施 2万m3 (平成23年度 2. 4万m3)</p>	<p>整備効果が現れる河川延長 2, 220m (1, 040mの増)</p> <p>河川の計画的浚渫の実施 2. 0万m3</p>				
<p>・ダム事業の推進 足羽川ダム事業の継続を早期に決定し、工事着手出来るよう事業推進を国に強く要請するとともに、水源地域対策特別措置法に基づく水源地域整備計画の作成を国、池田町と協力して進めます。 河内川ダムについては、本体工事に着手し、吉野瀬川ダムについては、付替え道路工事を進め、事業の推進を図ります。</p>		<p>〔成果等〕 引き続き実施します。</p> <p>足羽川ダムについては、7月に国土交通大臣がダム事業継続の方針を決定し、現在国は地元との補償交渉に取り組んでいます。一日も早くダムが完成するよう引き続き国に求めていきます。 また、水源地域整備計画の策定については、池田町の活性化に必要な総合的な支援策の検討について全庁体制で取り組んでおり、引き続き国・池田町と協力して進めていきます。 河内川ダムについては、仮排水路トンネル工事に続き、本体工事に着手しました。吉野瀬川ダムについては、付替え道路工事を進め、事業の推進を図ります。</p>			

役職	土木部長	氏名	西山 幸治
項目		実施結果	
<p>・土砂災害対策の推進【部局連携】</p> <p>土砂災害警戒区域における砂防堰堤などの整備を進めるとともに、里山砂防による流域管理を行います。また、除石による砂防堰堤の機能回復を図り、発生した土砂については有効利用を推進します。</p> <p>土砂災害特別警戒区域の指定を進めるとともに、市町が実施する住民の避難訓練に県が共動し、防災体制の強化を図ります。</p> <p>また、保育所、高齢者施設、障がい者施設などの災害時要援護者関連施設に対し、災害避難マニュアルの作成と避難訓練の実施を働きかけます。</p> <p>さらに、小学校を対象とした出前授業を開催し、土砂災害と洪水に備える防災教育を進めます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>砂防えん堤などの整備により保全する人口 34,120人</p> <p>市町の土砂災害避難訓練の実施数 10市町</p> <p>災害時要援護者関連施設の土砂災害避難訓練の実施数 55施設</p> <p style="text-align: center;">チャレンジ目標 67施設</p> </div>		<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>土砂災害から安全安心を確保するため、砂防えん堤などの施設を整備し、保全する人口が約700人増加しました。</p> <p>里山砂防については、作業路等を2箇所を整備しました。</p> <p>また、除石は3箇所を実施し、発生した土砂は公共工事に流用するとともに民間工事において利用されました。</p> <p>土砂災害特別警戒区域の指定については、市町とともに未指定地区を対象に地元説明会を開催し、指定の必要性の理解を求めました。</p> <p>市町、住民等と連携し、土砂災害ハザードマップを活用する土砂災害避難訓練を4市町で実施しました。同時に、防災講習会を開催し、警戒避難体制の整備を図りました。</p> <p>災害時要援護者関連施設については、土砂災害避難マニュアルに基づく避難訓練が76施設において実施され、防災体制と避難方法の確認が図られました。</p> <p>小学生を対象とした防災出前授業を21校で実施し、土砂災害と水害について防災意識の向上を図りました。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>砂防えん堤などの整備により保全する人口 34,121人(701人増)</p> <p>市町の土砂災害避難訓練の実施数 10市町(4市町増)</p> <p>災害時要援護者関連施設の土砂災害避難訓練の実施数 76施設(49施設増)</p> </div>	
<p>・木造住宅の耐震化促進</p> <p>地震による被害を軽減するため、「県建築物耐震改修促進計画」に基づき、耐震化率向上を目指し、耐震性が十分でない木造住宅の改修工事等に対し、市町とともに支援を進めます。</p> <p>また、建築関係団体と共動で、住宅のリフォーム工事を行う方に対して耐震補強工事を併せて行うよう働きかけるとともに、耐震化の重要性や工法等について全市町で説明会を実施し、耐震化への理解を深めます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>耐震診断・補強プランが作成される木造住宅戸数 2,762戸 (平成23年度末 2,512戸)(250戸の増)</p> <p>耐震改修が行われる木造住宅戸数 120戸 (平成23年度 86戸)</p> </div>		<p>[成果等] 目標にはいたりませんでした。</p> <p>住宅の耐震化への県民の理解を深めるため、市町が開催する参加者の多いイベント等に出向き、補助制度の説明、相談会、パネル展示などを全市町で実施しました。</p> <p>また、費用負担の軽減を図るため、住宅全体の耐震補強ではなく、部分的な補強による耐震性能の向上を図る工法の検討や、リフォーム工事と同時に耐震改修工事が行われるように建築関係団体とともに働きかけました。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>耐震診断・補強プランが作成される木造住宅戸数 2,726戸(214戸増)</p> <p>耐震化が図られる木造住宅数 59戸</p> </div>	

役職	土木部長	氏名	西山 幸治
項目		実施結果	
<p>3 豊かな環境、もっと豊かに ◇ 見える見える温暖化対策 ・再生可能エネルギー設備の導入 九頭竜川浄化センターにおいてバイオマスエネルギーを活用する発電設備の導入に着手するとともに、市町の下水道処理場における再生可能エネルギー設備の導入を促し、CO₂削減に取り組みます。 浄土寺川ダムにおいてダムからの放流水を活用する管理用発電設備の導入を進めるとともに、砂防堰堤を活用した小水力発電の普及を促すため、市町等への技術的支援を行います。</p>		<p>[成果等] 引き続き実施します。</p> <p>バイオマスエネルギーを活用する発電設備については、平成25年度内の供用開始に向けて、九頭竜川浄化センターに適した消化ガス発電設備の規模や内容等検討と詳細設計を行いました。また、市町にも導入を促し、福井市の日野川浄化センターにおいても消化ガス発電設備の平成26年度供用開始を目指し作業を進めています。</p> <p>浄土寺川ダムにおいて、流況調査によりダムの放流水を最大限に活用できる発電出力を決定するなど、管理用発電導入の準備を進めました。平成25年度に詳細設計を行い、平成26年度から工事に着手します。</p> <p>砂防堰堤を活用した小水力発電については、1市町1エネおこし事業等で採択された5地区に対し、砂防堰堤の構造等に関する情報を提供しました。</p>	
<p>・克雪対策や建設技術の研究への取り組み【部局連携】 雪対策・建設技術研究所では、土木建設・農業等幅広い分野に活用できる積雪マップの作成、オールシーズン園芸施設への雪害対策の活用、河川水を利用した安価な屋根雪融雪装置の実験などにより、克雪対策を進めます。 また、建設廃棄物の再資源化、県産材の用途拡大などコスト縮減やリサイクルの推進に関する研究を行います。</p> <p>過去のデータを活用した積雪マップの作成 1件</p> <p>オールシーズン園芸施設に雪害対策研究成果を活用 1件</p> <p>河川水を利用し家屋の屋根雪を安価に融雪するなど実用化に向けた社会・実証実験数 2件</p>		<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>福井地方気象台の技術的な指導を受け、県内全域の積雪マップを作成しました。</p> <p>既設積雪計36箇所に加え、観測地点を20箇所追加し今年度積雪深を観測しました。引き続き観測を続け、今後、積雪マップの精度を向上させていきます。</p> <p>農林水産部と協議を重ね、高浜町で建設するオールシーズン園芸施設に、当研究所の成果である2種類の融雪技術（屋根雪散水融雪技術の応用・画像処理型積雪センサによる効率的な融雪装置の運転技術）を採用しました。</p> <p>河川水を利用した安価な屋根雪融雪装置（勝山市北谷町10軒）の社会実験、見学会の開催など普及に向けた活動を実施しました。</p> <p>過去のデータを活用した積雪マップの作成 1件</p> <p>オールシーズン園芸施設に、雪害対策研究成果を活用 1件</p> <p>河川水を利用し家屋の屋根雪を安価に融雪する社会実験 安価で環境に優しい再生アスファルト舗装の実証実験 計2件</p>	

役職	土木部長	氏名	西山 幸治
項目		実施結果	
<p>◇ 景観を県民資産に ・子どもにも大人にも新しい「住教育」を推進【部局連携】【共同研究】 福井らしい「住まい」「まち並み」「住まい方」を学び、次世代へ継承する「住教育」をモデル地区で実践するとともに、地元大学や関係団体と共働でモデル地区の調査・分析を行い、地域特性を生かした豊かな「住まい方」を研究します。 また、ゆとりある敷地に地域産材を使うなどの特徴をもつ住まいを普及・促進するため、県内にモデル住宅を建設し、内覧会を実施します。</p> <p>〔住教育実践モデル地区数 8地区 (平成23年度末4地区)(4地区の増) (福井市、敦賀市、大野市、勝山市、鯖江市、越前市、坂井市、南越前町) ※市町名は平成24年度から新たに実践する地区〕</p>		<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>県内8地区のモデル地区において、県内大学や関係団体と連携して、街なか散策や身近な景観づくりなど、地域の特性に応じた住教育を実施しました。 また、ゆとりある敷地に県産材を活用し、高齢者に配慮した住宅を「福井の住まい」として、普及・促進するため、県内に3戸のモデル住宅を建設、内覧会を開催しました。</p> <p>〔住教育実践モデル地区数 8地区 平成23年度から 平成24年度から 福井市：日新地区 大野市：大野地区 敦賀市：舟溜り地区 勝山市：片瀬地区 越前市：タンス町界隈 鯖江市：吉江地区 南越前町：今庄宿 坂井市：東十郷地区〕</p>	
<p>・景観調和の美しい社会資本の整備【部局連携】 塗装の塗り替えが予定されている橋りょうや、新たに整備する橋りょうについて、「福井県橋りょう景観ガイドライン」に基づき、適切な景観評価を行います。</p> <p>〔ガイドラインに基づく景観評価に着手する新設予定橋りょう数 1橋りょう ガイドラインに基づく景観評価に着手する塗り替え橋りょう数 2橋りょう〕</p>		<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>塗装の塗り替えが予定されている2橋りょうおよび新たに整備(架替)を予定している2橋りょうについて、「福井県橋りょう景観ガイドライン」に基づき、景観検討会を開催し、景観評価を行いました。</p> <p>〔ガイドラインに基づく景観評価を行った新設予定橋りょう数 2橋りょう (布施田橋(坂井市～福井市)、(仮)白鬼女高架橋(越前市)) ガイドラインに基づく景観評価を行った塗り替え橋りょう数 2橋りょう (青戸の大橋(おおい町)・東山橋(勝山市))〕</p>	

役職	土木部長	氏名	西山 幸治
項目		実施結果	
<p>・カーナビ時代の道路景観改善</p> <p>【部局連携】</p> <p>老朽化や退色等が進んでいる公共施設の案内看板を撤去するなど、道路景観の改善に努めます。</p> <p>また、道路標識の設置・撤去の指針を作成し、本年秋から歩道の整備等に合わせ道路標識等の集約化を図るとともに、福井ふるさと百景付近で必要性が低くなった道路標識を撤去します。</p> <p>広告主を対象とした出前講座を開催するなど、屋外広告物の乱立防止と景観に配慮した広告物の普及に努めます。</p> <p>はり紙など簡易な違反広告物を除却できる権限を、市町がボランティア団体等へ委任するよう働きかけ、地域住民と共動して違反広告物が設置されない環境づくりを進めます。</p> <p>（背面利用や併設などによる道路標識等の減少 16箇所 （10箇所の増） （平成23年度 6箇所）</p> <p>簡易な違反広告物を除去できる権限をボランティア団体等に委任する市町数 7市町 （平成23年度 6市町）</p>		<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>道路景観を改善するため、関係部局と協議し、計画的に公共施設への案内看板等を除去しました。</p> <p>6月に道路標識の設置・撤去の指針を作成し、その指針に基づいた集約化や撤去を7月から進めました。</p> <p>広告主となる各種団体を対象に出前講座の開催や県の広報番組でのPRなど屋外広告物の乱立防止と景観に配慮した広告物の普及に努めました。</p> <p>簡易な違反広告物を除却できる権限をボランティア団体等へ委任していない11市町に働きかけた結果、あわら市が権限の委任を行いました。</p> <p>（背面利用や併設などによる道路標識等の減少 20箇所（14箇所の増）</p> <p>簡易な違反広告物を除去できる権限をボランティア団体等に委任した市町数 7市町</p>	

役職	土木部長	氏名	西山 幸治
項目		実施結果	
<p>4 県土に活気の高交通時代</p> <p>◇ 高速交通ネットワークの完結促進</p> <p>・舞鶴若狭自動車道の全線開通</p> <p>舞鶴若狭自動車道については、平成26年度内のできる限り早い時期に全線開通できるよう働きかけるとともに、地域振興につながるスマートインターチェンジの整備促進についても、国と中日本高速道路株式会社に要請します。</p>	<p>〔成果等〕 引き続き実施します。</p> <p>舞鶴若狭自動車道の一日も早い開通や、スマートインターチェンジの整備促進について国と中日本高速道路株式会社に要請しました。</p> <p>小浜・敦賀間については、8月には野坂岳トンネルの掘削が終了し14本全てのトンネルが貫通し、10月には敦賀ジャンクション橋の架設が完了するなど、平成26年度開通に向けて全区間で工事が進められています。</p> <p>敦賀南スマートインターチェンジについては、4月に設置が許可され、9月から工事に着手しました。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>舞鶴若狭自動車道の進捗状況</p> <p>小浜・敦賀間 (39 km)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度に架設完了した橋梁 (橋長100m以上) 17橋 (全22橋中21橋架設完了) <li style="padding-left: 40px;">北川橋 次吉高架橋 <li style="padding-left: 40px;">大谷高架橋 黒田川橋 <li style="padding-left: 40px;">はず川橋 耳川橋 <li style="padding-left: 40px;">吉城川橋 上ノ谷橋 <li style="padding-left: 40px;">山上高架橋 黒河川橋 <li style="padding-left: 40px;">堂橋 <li style="padding-left: 40px;">谷川橋 (A、B、C、Dランプ) <li style="padding-left: 40px;">敦賀JCT橋 <li style="padding-left: 40px;">鳥羽川橋 ・平成24年度に貫通したトンネル 1本 (全14本中14本貫通) <li style="padding-left: 40px;">野坂岳トンネル </div>		

役職	土木部長	氏名	西山 幸治
項目		実施結果	
<p>・中部縦貫自動車道の整備促進</p> <p>永平寺大野道路については、早期全線開通のため、未買収の用地の取得を促進するとともに、平成26年度開通予定の福井北・松岡間および平成24年度開通予定の勝山・大野間の工事促進を国に要請します。</p> <p>大野油坂道路については、大野東・和泉間の用地の早期取得に向けて地元調整を進めるとともに、今年度事業化された和泉・油坂間の測量設計の促進を国に働きかけます。また、残る大野・大野東間の早期の事業化を国に強く要請します。</p>		<p>〔成果等〕 引き続き実施します。</p> <p>中部縦貫自動車道の整備促進や大野・大野東間の早期事業化について国土交通省に強く要請を行いました。</p> <p>永平寺大野道路の勝山・大野間については、3月24日に開通しました。</p> <p>福井北・松岡間については、松岡高架橋の架設が開始され、永平寺東・上志比間では、谷口高架橋下部工事に着手するとともに、長年、未買収であった用地の取得に進捗がみられました。</p> <p>大野油坂道路については、大野東・和泉間で用地買収に着手し、和泉・油坂間では調査設計が進捗しています。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>中部縦貫自動車道の進捗状況</p> <p>永平寺大野道路</p> <p>勝山・大野間 (7.8 km)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開通 (3月24日) <p>福井北・松岡間 (2.2 km)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松岡高架橋架設開始 <p>永平寺東・上志比間 (5.3 km)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・谷口高架橋下部工事着手 ・未買収の用地取得が進捗 <p>大野油坂道路</p> <p>大野東・和泉間 (14 km)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用地買収着手 <p>和泉・油坂間 (15.5 km)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査設計着手 </div>	

役職	土木部長	氏名	西山 幸治
項目		実施結果	
<p>・ 主要県内道路・県境道路の整備 高規格幹線道路と連結する基幹的な道路ネットワークの整備を最優先課題とします。 また、県民の安全と利便性、効果、効率性とともに地元合意や市町の協力体制なども考慮し、優先度をつけて計画的に整備します。</p> <p>〔 県内主要道路の供用箇所数 11箇所 (平成23年度末 5箇所) (6箇所の増) 〕</p>		<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>中部縦貫自動車道勝山IC～大野IC間や大野ICにアクセスする国道157号大野バイパスをはじめとする主要道路6箇所が供用されました。</p> <p>〔 主要道路の供用箇所数 6箇所 〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国道158号〔奈良瀬～境寺バイパス〕 (福井市奈良瀬町～境寺町) 4月21日 ・ 国道305号〔越廼バイパス〕 (福井市大味町～蒲生町) 11月11日 ・ 国道157号〔大野バイパス〕 (大野市新在家～吉) 25年3月24日 ・ 主要地方道坂本高浜線〔1期工区〕 (おおい町石山) 25年3月18日 ・ 都市計画道路戸谷片屋線 (越前市瓜生町～芝原2丁目) 25年3月20日 ・ 中部縦貫自動車道 〔勝山IC～大野IC間〕 25年3月24日 	
<p>◇ 海と空の拠点を最大活用 ・ 敦賀港の利用促進【部局連携】 取扱貨物量の増加や中国航路誘致に向け、鞠山南地区多目的国際ターミナルにおいて、コンテナ貨物の荷捌き施設であるCFSの整備を進めるとともに、物流拠点としての機能をさらに強化するために港湾計画の検討を行います。 * CFS：コンテナ・フレート・ステーション</p>		<p>〔成果等〕 引き続き実施します。</p> <p>CFSについては、実施設計を完了し、年度内に建設工事を発注して、平成25年秋の完成を目指し準備を進めます。 また、港湾計画については、近年の貨物量の動向を分析するとともに、今後の敦賀港のあるべき姿について利用者などからの意見をとりまとめました。</p>	

役職	土木部長	氏名	西山 幸治
項目		実施結果	
<p>・福井港の利用促進【部局連携】</p> <p>より安全で使い易い福井港を目指し、中央航路において11月までに航路幅の拡大を行います。</p> <p>また、航路への土砂堆積を軽減するための対策について検討を行います。</p>		<p>〔成果等〕 引き続き実施します。</p> <p>中央航路においては、水深10mの航路幅を160mに拡大する浚渫工事を、昨年11月に完了しました。</p> <p>また、福井港航路堆砂対策検討会において、中央航路への土砂流入の軽減対策案をとりまとめました。</p>	
<p>◇ 次の50年の都市改造</p> <p>・福井駅周辺部の整備【部局連携】</p> <p>福井駅付近連続立体交差事業は、鉄道で分断されている東西市街地の一体化を図る重要な事業であり、えちぜん鉄道の早期高架化に向け、都市計画変更の手続きを行うとともに、工事着手に向けた検討を進めていきます。</p>		<p>〔成果等〕 引き続き実施します。</p> <p>えちぜん鉄道の高架化については、新幹線高架の東側に高架化する計画で12月に都市計画変更を行いました。</p> <p>また、新幹線高架に乗入れる仮設線路の詳細設計に着手しました。</p> <p>3月には、国から高架化事業の事業計画変更の認可を得ました。今後、出来るだけ早く仮設線路の工事に着手できるよう取り組んでいきます。</p>	
<p>・足羽川の利活用の推進</p> <p>足羽川において、水辺に親しむイベント、川遊び、釣り体験などの活動の定着を図るとともに、10月頃までに舟を利用した河川の美化活動に取り組みます。</p> <p>さらに、足羽川の魅力を観光関係団体のホームページに掲載するなどして情報発信を行い、人と川のつながりを広げます。</p>		<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>市民団体や学校、企業などで構成する「まちなか足羽川会議」の参加団体と共動して、アユの稚魚放流やボートの川下りといった体験活動を実施し、多くの県民に参加いただきました。</p> <p>また、4月から舟による河川管理を試行的に実施するとともに、10月にはボートを購入し更なる河川管理の充実に向けた取り組みをスタートさせました。</p> <p>さらに、足羽川の利活用に関するホームページを作成し、足羽川の魅力の発信を行いました。</p>	
<p>〔釣りやカヌーなどの体験活動への参加者数〕</p> <p style="text-align: right;">2,200人</p> <p>（平成23年度 2,077人）</p>		<p>〔釣りやカヌーなどの体験活動への参加者数〕</p> <p style="text-align: right;">2,383人</p> <p>主な体験活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アユの稚魚放流体験 200人 ・ ボートの川下り 80人 ・ 復興エコキャンドル 850人 ・ ふくいまちかどコンサート 500人 ・ 魚釣り教室 52人 	

役職	土木部長	氏名	西山 幸治
項目		実施結果	
<p>◇ 電車・バス・自転車に乗りやすい街 ・自転車道の整備【部局連携】</p> <p>既存の自転車道や河川堤防を活用し、自転車走行環境の整備を進めます。 また、市町やカーセーブに関する団体等と共動し、県境や観光地を含む自転車道のネットワーク化、利用促進を図ります。</p> <p>〔自転車道のネットワーク化による安全な通行の確保 約114km (平成23年度末 103km)〕</p>	<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>永平寺福井自転車道から九頭竜川堤防などを活用して、案内板設置や路面表示により、利用者の誘導を行うことで、道の駅みくにまでのネットワーク化を図りました。</p> <p>〔自転車道のネットワーク化による安全な通行の確保 約114km〕</p>		
<p>5 行財政構造改革による財源の確保 ◇ 150億円の「政策推進枠予算」を確保</p> <p>・県有地の売却・利活用</p> <p>土地利用促進チームが、専門業者の販売ノウハウを活用し、県有地（元土地開発公社・住宅供給公社保有地）の民間企業等への売却や利活用を進めます。</p> <p>〔売却・利活用する土地の区画数7区画〕</p>	<p>〔成果等〕 目標を上回って達成しました。</p> <p>関係団体、近隣企業、宅建業者へのPRや訪問活動、一般公募を行い、12区画を売却、1区画を有償貸付しました。これからも訪問活動等を継続していくとともに、宅地建物取引業団体等の情報網やノウハウを活用して、土地の売却や利活用を進めます。</p> <p>〔売却・利活用した土地の区画数 13区画〕</p> <p>〔売却〕 12区画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・坂井市江留中 個人に1区画売却 ・花乃杜ハイツ 個人・業者に11区画売却 <p>〔有償貸付〕 1区画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福井市大手 民間業者に駐車場として有償貸付 (H23.6~H26.3) <p>・平成24年度歳入：49,409千円（実績）</p>		